

本日、ここに令和8年第4回市議会定例会を招集いたしまして、補正予算案をはじめ、当面する市政の重要案件についてご審議をいただくわけであります。

各案件にわたります詳細につきましては、審議の過程で副市長並びに担当部課長からご説明申し上げることといたしまして、私はその概要と現在の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様に一層のご理解とご協力をお願いする次第であります。

はじめに、防災・減災対策についてです。

高松地方気象台は、6月2日頃に四国地方が「梅雨入りしたとみられる」と発表しました。これから本格的な出水期を迎えますが、近年、地球温暖化に伴う気候変動により、局地的な豪雨などの大規模災害が、いつどこで発生してもおかしくない状況にあります。

こうした中、5月29日から、気象庁は、警報や注意報などを災害の種類や警戒レベルごとに再編した新たな防災気象情報の運用を開始しました。この改正により、発表される警報・注意報の名称の前に「警戒レベルの数字」が付記されるなど、災害の危険度がより直感的に把握できるようになっています。市民の皆様におかれましては、松山地方気象台や関係機関が発表する気象情報、市が発令する避難情報などに注意を払い、事前の備えとともに、危険を感じた際には「早め早めの避難」など、命を守る行動を最優先に取っていただくようお願いいたします。

振り返りますと、平成30年7月の西日本豪雨では、本市も記録的な大雨に見舞われ、各地で浸水や土砂災害が相次ぎました。特に保内町神越地区では、88世帯もの家屋が浸水被害を受け、その対策は喫緊の課題となっておりました。これを受け、本市では令和2年度より同地区の雨水対策事業に着手し、「神越ポンプ場」の整備を進めてきましたが、このたび施設が完成し、6月末から本格稼働を開始します。「神越ポンプ場」の完成により、長年浸水被害に悩まされてきた神越地区の安全・安心な生活環境を確保するとともに、広範囲にわたる内水浸水被害の解消を図ってまいります。

また、本市では、本年4月の機構改革において、総務課の「危機管理・原子力対策室」を分離・昇格させ、新たに「防災危機管理課」を設置しました。防災・減災対策のさらなる充実を図ることはもとより、今後30年以内に60%から90%程度以上の確率で発生が予想される「南海トラフ巨大地震」等に備え、事前復興計画の策定に尽力するとともに、最重要施策である「愛宕山プロジェクト」を主導し、災害に強いまちづくりを強力に推進していきます。

次に、物価高騰対策についてです。

緊迫する中東情勢等の影響により、原油やプラスチック製品、原材料などの確保への不安から、様々な分野で価格高騰が続いており、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼし

ています。

このような中、本市では2月の臨時会において可決された物価高騰対策事業を速やかに実施し、市民の皆様や事業者への支援に注力しています。

生活者支援の柱である「やわたはま生活応援商品券事業」では、全市民を対象に「地域応援券」と「共通券」各7,500円分、計15,000円分の商品券を配布しました。利用期限は7月31日までとなっておりますので、期間内にぜひご活用ください。

また、個人向けの「LED照明器具等省エネ家電買替促進事業」及び中小企業等向けの「省エネルギー対応設備更新等支援事業補助金」、「生産性向上・収益力強化支援事業補助金」については、市民や事業者の皆様の関心が非常に高く、予想を上回る申請をいただいております。

これらの事業は、本市の重点施策である脱炭素社会の実現に向けた取組であるとともに、物価高騰に直面する市民生活や事業者の経営を支える重要な施策です。そのため、今議会において補正予算を計上し、事業費を増額することとしています。

今後も市民や事業者の皆様に寄り添った支援を継続しつつ、市全体として環境意識を高め、GX（グリーントランスフォーメーション）を一層推進してまいります。

このほか、大学生等を扶養する世帯へのデジタル商品券給付についても、8月末まで申請を受け付けております。こちらはオンライン申請のみとなりますが、市のホームページ等で詳細をご案内しておりますので、対象となるご家庭については、確認のうえ、期限内に申請いただきたいと思います。

世界情勢が不透明な中、物価高騰の長期化が懸念されます。市としましても、国の動向を注視しつつ、市民生活を守り地域経済を活性化させるため、必要な施策について時機を逸することなく取り組んでまいります。

次に、「ダルメイン World マーマレードアワード&フェスティバル in Japan」についてです。

本市で8回目の開催となる今大会には、国内45都道府県および海外5つの国と地域から、計2,079点もの想いのこもった作品が出品されました。5月14日に審査結果を発表しましたが、3年連続で2,000点を超える出品があったことに加え、マーマレードの品質も当初に比べ格段に向上しており、日本大会が着実に成長していることを改めて実感しているところです。

本市での審査に先立ち、私は4月に英国ダルメインを訪問し、本大会の視察と令和10年度までのライセンス更新の署名式に出席してまいりました。今回の訪問では、在英日本国大使館の池上特命全権公使公邸にもご招待いただき、「この大会が日英友好の懸け橋として大きな柱となっている」との嬉しいお言葉をいただきました。また、英国で日本食レストランを営む本市出身の松田氏や、「やわたはま応援隊」でありロンドン在住の岡崎氏とも交流を深めることができました。

ライセンスの署名式では、第10回大会まで引き続き本市で開催することが正式に決定

しました。その際のスピーチでは、英国発祥の伝統文化を世界へ広めること、そして日本の柑橘の魅力を発信することに尽力してきた歩みを振り返り、関係者や世界中のマーマレード愛好家の皆様へ深く感謝を申し上げるとともに、さらなる発展に向けた決意を述べました。

また、大会創始者のジェーン・ヘイゼル・マコッシュさんとも再会することができましたが、ご病気を乗り越えられ、元気なご様子であることをお見受けし、大変嬉しく感じました。ジェーンさんは11月に本市で開催される表彰式とフェスティバルに、ご家族と一緒に来日される意向と伺っております。再会を心待ちにしながら、大会がより一層盛り上がるよう、万全の準備を進めてまいります。

次に、本市の令和7年度決算の概要であります。

まず、一般会計については、ゆめみかん大規模改修事業、広域選果場新築への支援のほか、八幡浜中学校武道場整備事業、神山こども園新築・移転事業など大型の投資的事業の実施により、歳出ベースで310億円を超える過去最大の規模となりました。

また、伊方消防署新築・三崎分署改築に対する消防事業負担金など多額の一般財源を要する事業に加え、物価高騰や賃金水準の上昇により、全般的に費用が増加したことなどから、厳しい収支状況が予想されましたが、ふるさと納税寄附額が前年度から約17億円増加したことや地方交付税の追加交付などで、最終的には実質収支が6億円を超え、財政調整基金を取り崩すことなく決算を迎えることができました。

ふるさと納税については、寄附額が過去最高額を更新し、約47億3千万円となりました。これは返礼品の大部分を占める温州みかんの収穫量が多かったことやポイント廃止に伴う駆け込み需要の影響などから大幅な増加となったものと思われまます。

この結果、令和7年度末の財政調整基金の残高は約46億7千万円となる見込みですが、令和8年度以降も大型プロジェクトに引き続き取り組むことに加え、長引く物価や資材価格の高騰の影響などから歳出の増大が見込まれるため、決して楽観視はできないと考えています。

今後も、国や県の動向を注視しつつ、財政健全化に努めてまいります。

下水道事業会計につきましては、当年度純利益6,174万9千円、水道事業会計につきましては、当年度純利益2,415万5千円を計上し、それぞれ単年度黒字決算となりました。

しかしながら、両事業とも、人口減少に伴い、料金収入が年々落ち込む一方、施設の老朽化・耐震化対策などの費用は増加しつつあり、大変厳しい経営状況となっております。

このため、西日本豪雨や新型コロナウイルスの蔓延などによる市民生活への影響を考慮し、10年間据え置いてきた上水道料金と下水道使用料を本年10月に改定することとし、今議会におきまして、条例改正案を提案させていただきました。物価高騰が続く中、市民の皆様、事業所の皆様のご負担が増えることとなりますが、施設を健全に保ち、将来にわ

たって良質なサービスを維持していくためにはやむを得ない措置でありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

また、簡易水道事業会計につきましても、当年度純利益672万6千円を計上し、単年度黒字決算となりましたが、給水収益に限られるため、構造的に一般会計からの繰入金に頼らざるを得ない状況です。今後は、日土地区の簡易水道統合も控えているため、コスト削減に努め適切な運営を目指してまいります。

病院事業会計につきましては、外来は令和6年度並みの医業収益となりましたが、入院については、患者数は増加したものの、診療単価が下がったことで医業収益が減少し、経常損失は3億5,730万8千円となりました。そして、令和7年度は、特別損失として旧医師住宅の除却費1億2,608万2千円などを一括で計上したことから、当期純損失は4億7,706万4千円となりました。

令和8年度の診療報酬改定では、全体で2.22%のプラス改定となりましたが、人口減少が進む中、今後も収益の大幅な増加は見込めず、一方で支出については人件費や物価高騰による経費の増額が継続する見通しで、今後も厳しい状況が続くものと見込んでいます。

本市に限らず、全国的に病院経営を取り巻く環境は年々厳しさを増しておりますが、令和5年度に策定した経営強化プランに基づき、医療環境や業務効率化により医師・看護師等の維持確保に努め、健全な経営基盤を構築するとともに、診療レベルの向上を図り、安全で安心な医療を提供できるよう努めます。

それでは、今回提案の6月補正予算の主なものについて、順次ご説明します。

**最初に「新時代に対応したまちづくり」についてです。**

「八幡浜港みらいプロジェクト」による各施設の整備に伴い、道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」周辺エリアでは、さらなる来場者の増加が見込まれます。これに伴う利便性の向上を図るため、魚市場敷地内に立体駐車場を整備します。また、この施設を、周辺に高台が少ない臨海部における津波一時避難場所として利用することにより、地域の防災力の向上を図ります。

本年度は、建設予定地にある既存倉庫等の解体工事を実施するとともに、本年度から来年度にかけての2か年で、実施設計から本体工事までを一括発注により進めてまいります。なお、供用開始は令和10年4月を予定しております。

GX（グリーントランスフォーメーション）の取組では、令和4年度に市民スポーツセンターへ導入した「地中熱システム」について、運用方法の最適化や用途拡大を探る調査を実施します。あわせて、地域特有の熱エネルギーの有効活用を模索する「面的熱利用調査」を行い、これらの成果を「やわたはま脱炭素推進コンソーシアム」と連携した勉強会等を通じて広く共有します。市民や事業者の皆様の理解を深めるとともに、脱炭素社会の

実現を将来の地域振興へと繋げることを目指します。

**次に「物価高騰対策事業」についてです。**

先ほど申し上げたとおり、現在、予算を繰り越して実施しております「LED照明器具等省エネ家電買替促進事業」及び、「省エネルギー対応設備更新等支援事業補助金」、「生産性向上・収益力強化支援事業補助金」の3つの事業について、事業費を増額し、切れ目のない支援の継続を図ります。

**「安全安心なまちづくり」については、**

愛媛県が実施する川之石港の浮棧橋チェーン更新などの改修工事に係る負担金を計上し、港湾施設の機能確保を図ります。

**次に「暮らしやすいまちづくり」についてです。**

昨年度、市制施行20周年記念事業として開催した、東京やわたはま会会長でありスポーツジャーナリストの二宮清純氏と日本サッカー界のレジェンド、ラモス瑠偉氏によるトークセッションは、大変好評を博しました。今年度はこれに続き、元横綱・白鵬（はくほう）氏をお迎えし、二宮氏とのトークセッションを開催します。

白鵬氏には、本市出身で大相撲国際化の先駆者、第39代横綱・前田山の記念碑への参拝も予定していただいております。史上最多の優勝回数を誇る同氏の経験から、スポーツを通じた人生観や、将来の夢に向かって努力することの大切さを語っていただけるものと、大きな期待を寄せております。

学校教育では、文部科学省が進める人権・同和教育の推進において、本年度は千丈小学校が指定校となりました。学校・家庭・地域が密接に連携し、人権尊重の精神を育む教育・研究事業を推進してまいります。また、学校における防災教育実践のモデル地域についても、本市が指定を受けております。江戸岡小学校を中心に、地域の実情に応じた防災教育の充実を図ります。

市民スポーツセンターについては、昭和63年の建設から約40年が経過し、施設の老朽化が進んでいることから、各設備の改修を進めてまいります。今年度は、プールの屋根の全面改修に向けた実施設計を行うとともに、高圧受電設備の更新やエレベーターの修繕等を実施し、安全性の確保と機能維持に努めます。

市立病院においては医療現場のモバイル端末等を更新するほか、睡眠時の異常を感知する生体センサー装置を導入します。これらにより、看護師をはじめとする職員の業務効率化と、より質の高い医療環境の実現を図ってまいります。

**最後に「産業振興の取り組み」として、**

新規就農者支援のための補助金について、現在の社会情勢等を踏まえ、補助単価を増額するため予算を計上します。また、愛媛県が実施する向灘地区の臨港道路改良工事に伴う

負担金を引き続き計上し、水産物の輸送力強化及び漁業活動の円滑化を図ります。

以上が、6月補正予算案の概要であります。

この結果、

一般会計 7億8,769万3千円の追加

企業会計（1会計） 1,633万6千円の追加

合計 8億 402万9千円の追加を、ご提案申し上げますの  
です。

これらの財源としましては、国・県支出金、市債等それぞれの事業施策に対応する額を  
計上しています。

以上、ご説明申し上げました補正予算案等につきまして、慎重審議を賜りまして、ご賛  
同いただきますようお願い申し上げます。